

ひこねしちよ一の部屋



◀ひこねしちよ一
CHはこちら



1月号で財政難の彦根市の再建には、①無駄の排除、②資産やポテンシャルの有効活用、③民間活用が必須であることを述べましたが、今月はいかに「ピンチをチャンスに変えて

いくか」という取り組みのお話をさせていただきます。

私は市長就任直後にひこにゃんの原作者であるもへろん氏と意気投合し、彦根を盛り上げるためのコラボ (共同作業) を開始いたしました。これまで4柄しかなかったひこにゃんは「わるにゃんこ将軍」も登場する絵本化を初めにコミック化やアニメ化まで決定しており、四番町スクエアには「ひこにゃんショップ」も登場、アフターコロナの復活に向けてさらなる賑わいの創出に取り組んでおります。これはひこにゃんを官民連携で有効活用 (上記の②と③) した例ですが、実は四番町スクエアや夢京橋キャッスルロードの整備には、長

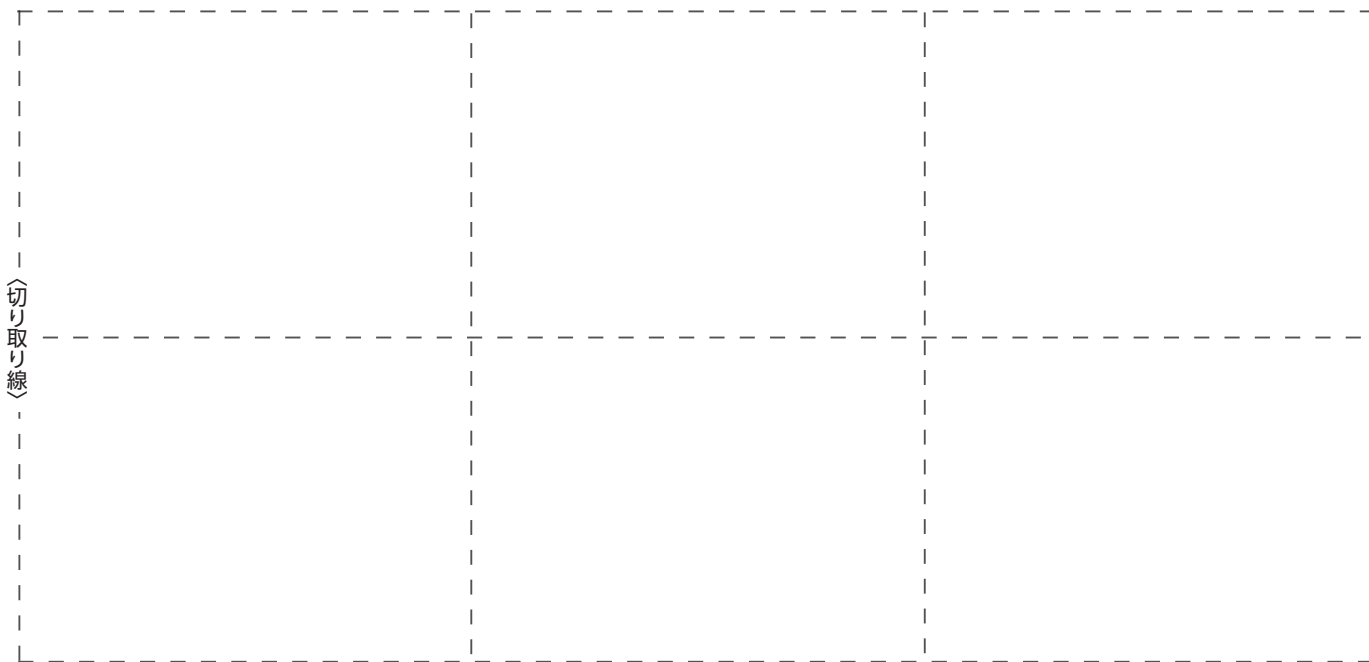
浜市が黒壁スクエアに投入した金額の20倍もの市税が投入されています。黒壁スクエアはまさに民間活用の成功例と言えますが、我々は失敗に終わらせるのではなく、これから投資をしっかりと「回収」したいと思います。例えば毎年約800万円支出していた夢京橋の市の施設は民間の宿泊施設にします (上記②と③)。夜に閑古鳥が鳴いている一帯を特にインバウンド向けの滞在型・宿泊型に転換していくことが狙いです。

同様に来年開催される「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」では、彦根市は主会場となる県営の陸上競技場整備に併せて体育館の移築や周辺の公園・道路・河川等の整備、彦根市職員の大幅な増強などに巨額の市税を投入しています。これがまさに彦根市の財政悪化の大きな要因なのですが、これも何としてでも「回収」しなくてはならず、それがまさに「Jリーグの誘致」です。J1まで昇格すれば彦根市単独だけで数十億、滋賀県全体ではその倍以上の経済効果が見込まれます。皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

和田 裕行

市民無料観覧券

- ▶点線で切り取ってご利用ください。
- ▶1枚につき、1人のみ利用可能です。



切り取り線

次の人は、無料観覧券以外でも、彦根城・玄宮園・彦根城博物館に無料で入場できます。

- ▶65歳以上の市民 (住所・年齢を確認できるものを提示してください)
- ▶身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、その他心身に障害等のあることが確認できるものをお持ちの人 (介助者1人を含む) (手帳などをご提示ください)
- ▶市内の小・中学校の児童・生徒 (小学生は入場口で学校名を申し出て、中学生は生徒手帳を提示してください)
- ▶市内の高等学校・大学に通学する生徒・学生 (生徒手帳・学生証を提示してください)
- ▶市民で住民基本台帳カードまたはマイナンバーカードをお持ちの人

問 彦根城・玄宮園 ☎22-2742
彦根城博物館 ☎22-6100